常磐毎日新聞

われ等の殿堂
公會堂出現の喜び！
市民協和の此の結晶
形態美と收容力に於いて 東北に冠絶せる文化營造
茲に平市の雄姿あり

われ等の殿堂――平市公會堂は愈よ三日午前十時から待望の竣工式が擧行される、平市の南裡新川端に臨み谷川瀬の連山に相對峙して巍然たる偉容を整備出現したゴシック近樣式の此の大殿堂こそ、事變下銃後の團結を誇示する市民協和の賜であり然も駸々乎たる躍進平市の象徴としてその實力を裏書するに餘りあるものがあらう、市制實施の金字塔として代初市民が次氏の子々孫々に贈る此の大營造物は今後あらゆる文化の發祥機關たるの使命を全ふするに恥なきは勿論、その形態美、その收容力に於て、『東北第一』である事を確信すると同時に市民の文化生活がそれだけ向上し且つ市民の社會生活がより以上豊富となる上に多大の貢献を發揮する此の大公共物の出現は平市の進展史に一エポックを劃するものとして市民齊しく喜びを禁ぜざるものがあらう、されど今は暴支膺懲の重大時此の悦びを胸に押へて竣工式の如きも徒らに單なるお祭り騒ぎを避け、飽迄も精神的ならしむる上に簡素を旨とした祝意を表せんとするは市理事者日頃の心構へも見えて奥床しくも此の大殿堂に一層光彩を放たしむる含蓄ある擧措として賞揚の價値充分である

竣工式次第

一、一同着席
一、擧式ノ辭
一、修祓
一、降神
一、祝詞
一、玉串奉奠
一、昇神
一、式辭
一、工事報告
一、功勞者表彰
一、來賓祝辭
一、閉式ノ辭
一、餘興宴祝

明日の中等學校
教員野球大會
鐵腕の陣營に勢力全く伯中
豫斷を許さぬ爭覇戰
教壇人の意氣を見よ

（既報）本社主催第五回中等學校教員野球大會は愈々明二日磐中球場に於て擧行される午前八時半を期して熱球戰の幕は切つて落される筈であるが磐中、平商、磐女共に各チームが榮ある〃優勝旗〃を目指して戰備怠りなく秋陽の下連日猛練習を續けた健腕の勢力全く伯中し勝利の榮冠果して何れか？、毫末も豫斷を許さぬものあり銃後教壇人の意氣高らかに展開される秋の豪華的爭覇戰は蓋しファンを白熱的昂奮の坩堝に投げ込まずに置かぬであらう、當日覇權を爭ふ各チームの出場メンバーは左の如くである

▲磐中（投）新谷、小林（捕）山本、樋口、山口（一）大村（二）柳澤（三）熊谷（遊）吉田（右）永島（中）下山田（左）梅森

▲平商（投）鈴木、若松（捕）三森（一）永岡（二）大澤、廣田（三）玉手（遊）宮澤（右）菅原（中）若松（左）下山田

▲磐女（投）大内（捕）島貫（一）松浦（二）鈴木（三）新妻（遊）土披（右）

正木、日野、秋山（中）佐々木、蝦名、穴井（左）

日刊
十月一日　夕刊
定價 一部金貳錢 一ヶ月金五拾錢
廣告料普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人 坂本忠治
發行所 常磐毎日新聞社 電話六三〇番
印刷所 常磐毎日印刷株式會社（振替口座）東京 四〇二一〇番

印刷の御用は
常磐毎日印刷株式會社へ
電話六三〇番

金子、淡路

弓道豫選會

武德會平支部では縣下弓道大會が來る二十日福島に開かれることになつたので明二日平署矢場でこれが豫選會を開き代表二名を決定した

鮫川堰總會
水路復活を協議

鮫川堰組合では小名濱日曹工場と提携水路復活工事を起すことになり目下準備を進めてゐるが來る四日午前十時から平國体事務所に臨時總會を開き水路改修工事施行の件、組合償還方法等を附議する

試合前先づ
默禱を献ぐ
銃後鐵壁陣の
教員野球戰の順序

（別項）銃後の鐵壁陣を高揚頑健を競ふ本社主催中等教員野球戰はファンの待望裡に愈々明日決行先づ午前八時堂々選手入場、國旗を掲揚して宮城並びに神宮を遙拜皇軍將士の武運長久を祈願、暫らく默禱の後川崎本社長の挨拶、來賓の祝辭あり優勝旗返還の後、審判長の注意あつて直ちに正木磐女校長試球の許に決定された試合時間は左の如く組合せは開始前抽籤により行はれる

△第一試合　午前八時半開始

△第二試合　午前十一時半開始

△第三試合　午後三時開始

佐川教諭慶事

磐中教諭佐川政吉氏は千葉第二校長夫妻の媒妁に依り磐女教諭草野武子さんと婚約成り明一日縣社子鍬倉神社々頭に於て華燭の典を擧げ午後三時から住吉屋本店に披露の宴を張ると

入山校の音樂と舞踊の夕

場本町入山小學校同窓會主催出征兵士慰問金造成と遺家族慰安の音樂と舞踊の夕は明二日午後六時から入山自治會館に開かれる

簡易保險と報國運動
平郵便局長

（二）

第一は國民生活の安定である

この十月一日を以て滿二十二年の誕生を迎へる簡易保險の實績は契約件數三千萬件保險金額四十四億圓を超ゆる盛況でその普及率は人口千人當四百十五件に當る。吾が東北だけでも二百六十餘萬件の加入者がありその保險金額は三億三千餘萬圓に上り人口千人當り三百七十件の加入率を示してゐるが、これに依つて簡易保險が如何に國民大衆の生活に浸透してその使命を果しつゝあるかは明であり、また觀方によつてはこれ等の人々の生活が四十七億円或は三億三千萬圓といふ巨大な保險金によつて保證されてゐるとも謂ひ得るわけである。

第二は國民保健に對する寄與である

被保險者を中心とする國民一般の體位の向上、健康の增進を目的としてラヂオ體操を率先普及奬勵するの外全國主要都市二百三十ケ所には簡易保險健康相談所を設けられこれらの利用者も毎月凡そ五、六十萬人の多數に上るが、健康相談所の設置せられてゐない地方には醫師及看護婦を特派して巡回健康相談を取扱ひ、一般の醫療機關に乏しい農山漁村方面に居住する被保險者の健康の保護に努めてゐる。尚此の外、日本醫師會及日本齒科醫師會と協定して全國各地方の主なる開業醫師及齒科醫師を「簡易保險醫」「簡易保險齒科醫」に指定して被保險者のために普通料金の凡そ二割引程度の極めて低廉な費用で診察治療を行ふ途を拓き、また日本藥劑師會とも協定して藥劑の低發供給を計るなど加入者の療養上に遺憾なきを期してゐるがこれら各種の施設が被保險者をはじめ一般國民の健康增進並に衛生思想の普及に貢獻してゐる點は誠に偉大と言はねばならない。

第三は積立金の運用である

簡易保險ばかりでなく一般に生命保險に拂込まれた保險料は保險金として支拂はれるまでは積立金として集積され、いろ〳〵な方面に向つて放資されるが、これが經濟界に與へる影響は尠くない例へば年々發行される公債や今次事變に際して發行された愛國公債を如何に消化せしむるかは、財政當局が最も苦心するところであるが、十四億餘萬圓の積立金を保有する簡易保險に於ては今次の戰時公債の消化のために少なからざる部分を運用して政府資金を産み出すことに協力してゐる。（續く）

滿船東日本丸
今朝小名濱へ入港
水揚たサンマ廿七萬本
全町に歡喜湧く

サンマ漁への初陣にナント二十七萬本を漁獲し水産福島のため快氣焔をあげた小名濱漁業組合所屬の東日本丸は既報の如く水野漁業組合長の母港に入れの命令により今一日午前六時半滿船に近い船足も重く組合長等の出迎へを受けつゝ入港した本縣として初の水揚げであり又東日本丸として處女漁でもあるので組合長以下船員達の勞を稿ふと共に同船の將來を祝福して乾杯したが同船は明後日再びサンマ漁めがけて出帆の豫定である

三郡下中等校射擊大會

濱三郡下中等學校の射擊大會は既報の如く愈々明二日午前九時から浪江射擊場に擧行されるが磐中平商は當日平發午前六時で出發することになつた同大會に優勝すれば近く若松市に開催される縣下大會への出場權を與へられるのでいづれも張切つてゐる

招く誘惑の手から
小店員を救へ
開放後の思想善導の爲
平商工會奔走

けふからいよ〳〵待望の商店法が實施全商店は夜十時を限つて一齊に門扉を閉し店員を煩雜な一日から解放するが從來起きてから床に入るまで店に縛られ通した商店員達は閉店後は何處へ行く？長い間の習慣から早寝も出來ず自づと解放された時間を外の遊びに振向けこれを放任する時はカフエー喫茶店、遊里に出入するやうなことになりはしまいかかくては却つて身心を疲勞させ或は又店主から殘業を強いられ法の精神に背く結果ともなるので平商工會はこれを防止し誘惑、享樂の手から守り明日への活力を養はせやうと適當な施設をすることになり目下考究を進めてゐる

經濟更生村の
渡邊村を訪ふ
小名濱支局通信
支局長　小野務平

渡邊村を訪ねて爲さねばならぬ一つとして諏訪神社參拜である諏訪神社は遷宮年代は壹千年以上であつて其由緒の歷然たる點に至つては他に並ぶものがないとされて居る殊に七年毎の大祭は地方的に見ても類例はない、故に他縣からの參詣者が四六時中絶いない點などからして靈驗の如何に荒高いかが拜し得らるゝ譯けである

此地に足を容れては先第一に諏訪神社の參拜が先決問題である即ち中釜戸境内に進めば鬱蒼たる老杉古柏天に乘する莊嚴さ、百數十段の階段に依つて境内の高燥さを察せらるこの高まりたる靈山に鎭座する諏訪神社の神德は赫々として天下に洽きを知を得らる

國家安泰、武運長久を祈つて神坂を下り社掌高木信貞君を尋ねた高木氏とは二十年來の知己で其性格を知る點になると恐くは記者の右に出するものがないであらうとまでの確信を持つて居る、門を叩けば聲に應じて出て來たのが高木社掌であつた、『能く來たマアー上れ』と云ふ雜風な口調で通されたのが神の間であつた

そして高木君の話を聞くと某抱負が亦傾聽に値する、曰く神官、僧侶の生活は、蓄財を目的としてはならぬ、然し神威によつて收入を增す道を講ぜねばならぬ、そして能く取つて能く使ふ所に神職の生きる道が開かれるものと考へる人に依つては氏子に一から十まで世話になるのを能事として居るものもある樣だが、それは大なる誤りで氏子は何時でも世話をして呉れるものだとの考へは不可である、出來得る限り氏子以外に信者を持つに努力する事が神職たる義務であると云ふのが君の主張であつた

成程聞く處に依ると君の就職した當時は（二十年）前僅かに年收七百圓内外であつたそうだが今日では少くとも三層倍に增加して居ると云ふ談話中より感知するを得た點から考へても君の君に使ふ精神的の奉仕は敬意を表するに充分である、諏訪神社としては疾に郷社に昇格し、今亦縣社に昇格に運動中であるとの事を聞いたが其昇格は由緒にありては容易であるが境内基本財産に於ては規格の上にはまた幾多の難路を行かねばならぬと云ふので高木君の發奮に待つものが多い（未完）

女手一ツに
朝は牛乳・夜は木炭配達
男手借りぬ雄々しさ
この感激篇

〃女ながらもこの意氣をみよ！流石は軍人の妻だ〃と激賞されてゐる一婦人がある〃平市内柳町鈴木與代さん（三〇）は目下聖戰に參加各地に奮戰してゐる夫友光氏の留守宅をしつかと護り朝早く牛乳配達をしたり市内五丁目産婆猪狩カクさんの助手をして健氣にも遺族九名を養つてゐるので附近民はいづれもこの心意氣に感じ激賞してゐるが今一日同家を訪へば夫が出征するに際し銃後會をあてにせず自分で立派に一家を養つて行けよといはれたのでこの言葉を守つてゐるだけですと謙遜して語つた家族は手足の不自由な父友太郎さん（七〇）母マサさん（五九）それに義兄の遺兒三人と自分の子供一男三女で友光氏は出征前迄木炭商を營んでゐた模範在郷軍人である

熱球カツ飛ぶ
銃後の鐵腕
第五回中等學校教員野球大會開く
◈日時　十月二日午前八時
◈球場　磐城中學校々庭
◈參加　平市内各中等學校
主催　常磐毎日新聞社

署のお隣りへ
泥棒推參
不敵な仕業に署員もダー

植田の署長官舍と目と鼻の先の植田町字臺町農木田長太郎さん方に二十九日の明け方賊が忍び込んだが家人に騒がれて逃走した、鯉淵署長は官舍の附近を荒されたとあつては……と早速署員を非常召集自らも捜査の第一線に起つたが到頭捕はれなかつた

落盤で壓死

内郷村大字金坂磐炭坑夫小室孝次君（三〇）は二十九日午後七時半頃住吉坑第一坑道で作業中落盤のため壓死したが同所に働いてゐた片山金四郎君外三名は辛じて逃げ出しことなきを得た

ラジオ
JOHK

今晩の部

▽後六、〇〇　お話「秋の星月夜」野尻抱影
▽後六、二五　土ー夕話「山嶽を繞る傳承」田中喜多美
▽後七、三〇　國民歌謠
▽後八、五〇　箏曲「秋の曲」山勢松韻
▽後九、一〇　琵琶「嗚呼吉川獨立隊長」吉村城岳

明日の部

▽後六、〇〇　童話劇「街の小英雄」アタゴ童話劇園
▽後六、二五　講演「我國の科學的水準はどこ迄達したか」宮本武之輔
▽後七、三〇　日曜特輯ニユース演藝「世界の話題」
▽後八、〇〇　長唄「橋弁慶」富士田音三久
▽後八、二五　物眞似「時局座談會」鈴々舍馬風
▽後九、〇五　立體物語「慰問袋のはじまり」星ひかる

愛憎三度笠
吉川延作
瀧秋方畫

……（８４）……

立話　五

夢路は松千代の話に依つて、少くとも、今大助に對する感情は幾分失つて居たのである。松千代は、何とかして兄と、ゆつくり話をして、それから兄をなだめて、大助に對する感情を幾分ゆるめたい。と、思ふのだからそつと、

「にいさん」

と、語調を和げる。

「何だ！」

「あの方、決して……決して惡をつく人ぢやありません、わたしが……私が、ゆつくりお話したい事もあります、父樣の仇が第一……」

「ウン」

[illegible]で、しかも大助を仲に混じえた。武家立つた感情は娘のやうに沈んで、その底の感情は彼女としての悲しい心ばかりがほのめいて居る。

二人は、永い間見なかつた肉親しさと、お互に親を失つた悲しさとに、胸の底からにじみ出るやうな、苦痛をじつと耐えたまま無言であつた。

「俺は濟まないことをした、それでは父を陥れた男は、今、どうして居る」

「私は知りませんけれど、何でも江戸では大變な勢ひだと聞いて居ります」

「さうか、名は」

「御存じでせう、森島一角！」

「森島一角、あゝ聞いたやうな名ぢや」

と、源十郎は小頸をひねつた。

「たゞ今、何でも、こちらに出て居られるとも聞きました」

「さうか、わかつた！」

彼は膝を叩いた。

「どうしなすつた、御心當りがございますか……」

松千代は膝のり出した。

「ウン、ある」

「母が毎日のやうに、森島さまを恨んで居りましたわ」

「さうか、父は」

「父樣はあゝした方、一言も仰しやいません」

「さうか、さもあらう、よし[illegible]つた！」

酒と肴が運ばれたが、二人共酒をのむ氣持にも、すゝめる氣持にもなれなかつた。

「八重、お前はあの大助を何と思つて居る」

突然、違つた話に移つた。

「えッ」

松千代はかく然として、さうして又、赧然として頬をそめて默つてしまつた。

「あの方なんぞ、何とか云ふ、天王寺屋とか仰しやる方が懇意やと聞いて居ります」

「懇意には違ひない」

「そんな殺されるのはあたりまへでございませう」

「さうはいかぬ」

源十郎は、まだにがい顔をした。

「私と一緒に參りませう」

と、松千代は、兄の手をひいた。

「万事でよろしおすやろう」

「ウン、惡くはない」

と、源十郎は諾いた。

松千代は妹の立話が、遊行人に似しまれる不愉快を避れやうと、彼を万亭へ伴れ込んだのである。

源十郎も行き慣れて、顔馴染の女中もあた、松千代も、さすがに兄とはいひ變れたし、源十郎も、妹とはあかしかねて、只、故郷の知り合であつたとばかりの仲にして、座敷に通つたのであるが、さて、奧まつた小座敷に相對して坐つた時には、

シジミの砂抜き 味噌汁に珍重がられる瀬多シジミには砂が多く混合してゐるとがあります。これは砂抜きが充分出來てゐないからで料理に用ふる前にシジミを水に浸し、これに古い小刀か庖丁を入れておくとすつかり砂抜きが出來ます。其他の貝のお料理にも利用して見られるとよろしい

（今日の婦人問題）

杏は杏の木に

美しく味よく育てよ

伊福部敬子

☆—子供が、一生懸命に算術の計算をやつて見ても出來ないのを見て、『どうしてこんなものが出來ないのでせう』といつて叱り、『こんな事では誰さんにもまけるわよ』といつて鞭打つ。しかしどういふやうな煽てや激勵の言葉をいつてしても頭み立つことの出來ない子供にとつては、それは無理なのである。要求するものが子供の力以上のものなのである

☆—隣の子供には出來、向ふの子供にはわかることなのだけれども彼れには出來ない事があり得る。代りに、彼の得意とする作業を以てくらべたら、隣の子供を凌ぐこと敏速であるかもしれないのだ。又學問に於ては何の見るべきものがなくても、日常生活の間に創造するよい力をもつてゐるかもしれない。自らに差別は存ずる。何でもかでも所謂秀才に仕立てることは出來ない。

☆—子供には、母親の大きすぎるしかも見當ちがひの、あまりに熱心な期待にそふことは苦痛である彼には努力の限りをつくしてもあまりに大きな期待に添ふことの出來ない場合、無意識に病氣を招く有爲の青年にして病氣をしてゐるものゝいかに多いことか。精神分析學的にいふならば、これは母親の大きすぎる期待の壓迫から無意識にのがれようとする手段である。

☆……かくて杏は花の中に萎え青い中に、足下に踏みにぢられる。若し、母親にして、その子の杏なるや薔薇なるやを見極めるの用意をもつならば——。或る新らしい教育家は『人間は皆金になる必要はない』といつてゐる『銀もよく、銅も亦よい。最もよき銀は、最もよき金に勝る事さへもある』私はこの言葉を重ねて、若い母におくりたいと思ふ。特にその子の教育に熱心であると信ずる母に

☆……尤も、あらゆるものを金にしようとする錬金術はすべての科學を進歩させた。金を求める一心が今日の科學の進歩を促したともいふから、銀の子供を金にすべく拂ふ努力も或は無駄ではないといふかも知れないけれど、しかしそれは人の子の場合は罪である。

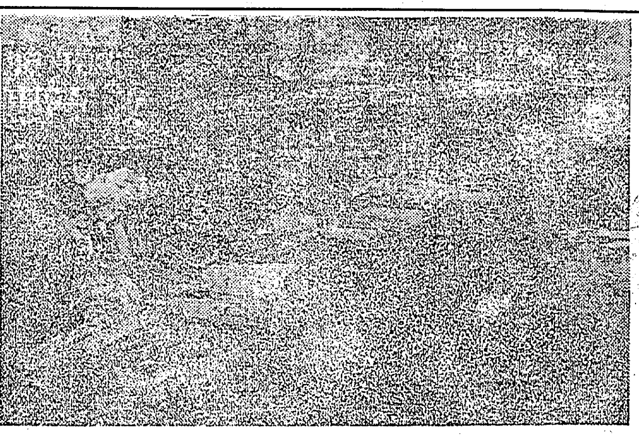
☆……どの子供を見ても、その幼い時は賢く、聖である。にも拘わらず、成長したものがそれ程賢く聖でないのは何の故であらう。杏の蕾は、杏の實を藏し薔薇の花は薔薇の實になる力と智恵とを藏する。しかも、これを花開き實のる間に損ふのは、傍らにゐるもの、罪に歸せねばならない、杏の木に杏實のらせよ——

出雲の神さまに

—可愛がられる職業と—

縁のとほい職業

さて、皆さんは如何？



職業婦人の結婚難が喧しい折から容貌、家庭、學力その他お嫁さんとしての條件は全て備へてゐるのだが、從事してゐる職業の特殊性から何故か私は縁遠い—とお思ひになる方はありませんか、アメリカと日本では結婚への習慣が違ひますが婦人の職業のうちどういふものが結婚に惠まれる機會が多くどんなもの縁遠いかをエドウイン・ヘイドン氏が發表してゐますので一寸お知らせします。

速記者 洋裁店員、婦人帽店員、交換手等は職業柄結婚の神にどうも縁をそむけられがちな不幸な女性です——といふわけは、職業の性質が異性と親密に接觸する機會に乏しいからです。

看護婦 これは結婚には都合のいゝ職です。看護婦を細君にしてゐる男性は非常な數に上つてゐます。病床に絶望の眼を閉ぢて臥してゐる折の看護婦の優しい親切には無限の價値がある。健康な時のテニス、ゴルフ、ダンスなどのパートナーであつた女達はどうであらうか病人の氣むづかしさを根よく忍んでくれるだらうか、松葉杖の面倒もみてくれるだらうか——と考へる時、いや多くの女性はさうではあるまい——と強く胸に響くそこで看護婦とのロマンスが始まる。

カフェーの少女達は？ 毎日スマートな若紳士の樣子や、態態をソーダタンクの蔭から見てゐるので自然さまざま手練を覺え込んで了ひます、結婚の邪魔となる筈はありません。

女店員 繁盛な若い店の販賣係は、美しい寶珠賣場の女達に巧妙に、毎日彼女達が賣捌いてゐるエンゲーヂリングを受けさせるべく骨を折る、織物賣場の少女と運動具賣場の店員の間には夏の休暇にロマンスの花が咲くこともあるし、男のお客も多い、これも結婚には惠まれた職です。

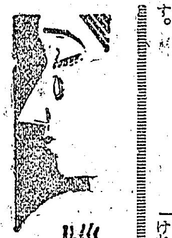
ハウスキーパー 貸間か素人下宿とお考へになつてもかまひません——も宜しいです、一度女の世話に馴れた男のやもめは、飯屋の飯や萬年床や靴下の穴に當面すると淋しさと取返しのつかぬ損失を一時に感ずるものです家庭的な世話と助力者を再び欲しくなる。そこで結婚への芽が出がちだ——といふわけです。

秘書 —併し結婚に惠まれる最上位の職業は何と云つても秘書です、著述家、僧正、政治家、俳優、富豪、貴族等の良き秘書に對しては、男達は細君のやうな、又成功になくてはならぬ同伴者の氣持も感ずるわけですから——

以上は環境から結婚の難易を比較して見たもので勿論結婚の後幸不幸に就ては自ら問題が別のものとなることを御承知下さい。

重寶豆本

お嬢のお化粧に頬紅の選び方、つけ方はぜひ注意して頂きたいことです——肌の色にも勿論よりますけれど、大體は薄化粧はうす色、少し白粉の濃い場合はダークがふさはしく、ですからオレンヂとダークオレンヂの二色位はいつもおもちになるやうに、そして頬よりも粉を、パフを使はずに刷毛でのばす方が自然です、つけ方ですが眼中に丸く型づくつたのは非常に見苦しく、おとなし向には目の上から頬にかけてぼかし、モダンにはその反對で下の方に少し濃い目につけます、頬のこけてゐる方はなるべく下の方に



惱める女性へ

同年結婚の不幸を怖れて躇ふ

【問】私は或る病院の看護婦をして居りますが、この三月から入院された患者から結婚を申込まれて困つて居ります。長い間の病院生活に憂鬱さうな淋しい樣子をお見受けして、その都度慰め元氣づけてあげますうち、いつしかその方が好きになつてしまつたのでございます。併しそんな素振りは少しも表はさず勤め、大事と熱心に看護致しますうち、その方は次第に快方に向はれましたが、憂鬱さうな顏色は益々加はる許りでございました、或る晩、いつものやうにお看護致しました末、俺は病氣を悲觀してゐるのではありません。人知れずあなたを戀して居るのです、貴女にプロポーズする資格は到底僕にはありませんから今迄言ひ出せずに煩悶してゐたのです。と打ちあけて下さいましたので、私も自分の戀してゐたことを包み隱さず申上げました。すると、それから俄に元氣の樣子になられ、是非結婚して呉れ、と言はれるのですが、二人は同じ年の二十二歳です。かねがね同年の結婚が將來不幸になると聞かされて居りますために、その話をしてお斷り致しますと、二人が深く愛し合つてさへ居れば不幸になるやうなことは無いと言はれます。併し見す〱不幸になると分つてる結婚は私には出來ません。自分では自分の幸不幸などうでもいゝんですが、若しも豫期した如く不幸な目にでもあつたら……と、その方にお氣の毒でなりません。そこで、この話をキッパリお斷りしようと決心したのも、あの方を心から愛すればこそでございます。でも翻へつて考へますと、その方とお別れするのが辛くつて致し方がありません。その未だにお斷りも出來ずに惱つて居ります。何卒私の進むべき道をお敎へ下さいまし

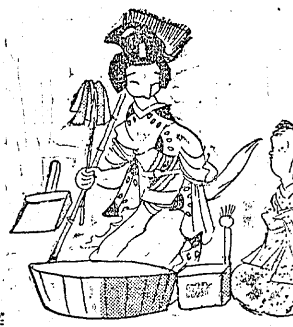
問題は愛の深さ　因襲を破つて幸福を築け

【答】あなたの煩悶は簡單に片付くと思ひます。同年の結婚が往々にして不幸な結果になるといふことは、男よりも女の方が老け易く、また考へも同年の男女をならべた場合、女の方が地味で年長者らしい點が見られるために男女の平衡がとれず、若しこれが夫婦の場合には妻の方が姉さんのやうな態度に出て夫を家長とする今の家族制度では、お互に不滿の點が出て來るといふ結果になり易いと云ふのでせう。併し、これは一般についていはれることで、例外は澤山あると見なければなりません。殊に妻が年上で幸福に暮らして居る夫婦さへあることを考へたならば、あなたの言はれる通り愛の深さが問題となりませう。更に父權夫も同等の權利に築かれてゐる家庭の激增する傾向を見ますならば貴女の心配も取るに足らないこととなりさうです。重要なのは世間ではなくて御自分です。愛すればこそ別れるとか、どうしても離れられないとか云ふ程強く愛してゐるのならば世間の思惑など蹴つて敢然自分達の幸福を自分達で築き上げねばなりません。

姑さんから

お嫁さんに御注文

餘り老人扱ひにして敬遠しないで下さい



『お姑さん、私がいたしますからそんなお仕事はなさらないで下さい』

氣立ての優しい貴女は、何んでもかでも、自分一人で働いて居ります。勿論、私共老人をいたはらうといふ考へからでせうが、實を云ふと、あなたが嫁に來てからは私共老人のやる仕事が何一つなくなつてしまつて、變に心淋しくなつてゐるのです。

毎日手持無沙汰にぶら〱遊んでゐたのでは、まるで食客のやうな氣になつて、まつたく用のない餘計者になつたやうにひがまれてくるのです。ですから老人には老人相當の仕事……たとへば、庭はきとか、孫のお守とか、ぼろ物のつぎはぎ、さう云ふ仕事を探し出しても、當がつて頂ひたいのです。その方がどれ程嬉しいか知れないので、變に樂隱居にさせられることは、決して有難いものではありません。

お掃除のコツ

こまかく散つたガラスのカケを拾ふにはハウキで掃くより綿か布に水をしませて破片の散らばつたところを丹念に押へれば完全に掃除が出來危險が殘りません。

また疊の上に灰をこぼした場合はそこへ鹽を撒き散らしてなんかでトン〱と輕くたゝくと灰は綺麗にその鹽について仕舞ひますから、それを靜かに掃き集めればよろしい

花の瓶

—手輕な水換へ　瓶を動かさずに

△——まだ暑いのかお座敷にお花を活てもすぐ水がきたなくなつて花の勢ひが惡くなります然し重い物ではあるし、花の形ちを崩さないやうに水を取かへるのはなか〱骨ですが次のやうにするとそのまゝで、至極簡單に取かへられます。

△——即ち、二尺ばかりの細いゴム管を求め、一端を花瓶にさし込み一端をそれより低い處においたバケツ等を置いて、その中へ入れて置くのです。

水は自然に高い花瓶から低いバケツへと傳つて落ち込みます

ものしり讀本

ストーブの起原を御存じですか

火を自分で作ることを知らなかつた大昔の人間は山火事などの自然の火を枯草や枯木の枝にうつして自分の小屋に運び薪を燃やして身體をあたためたもので、はじめは煙むたいのを我慢してゐましたがどうかして煙を外に出す工夫をしたら一層好都合であると考へて天窓や小屋の屋根へ穴をあけました これが最初の煙突です

不滅のシンボル

（[illegible]）

群司次郎正

大[illegible]子 畫

……第百二十六回……

鬪　爭（五）

云はれるまゝに、山田はしぶ〱上つて來る。

『どうしたのぢや？いつもの君らしくもないぢやないか。また母親と喧嘩したんか？』

『……………』

『オイ、あんまり年取つた親とそんなに、いつまでも喧嘩なんぞするなよ。氣の毒ぢやからな。君たちやまだいゝよ。さうやつて親があるから、犬も食はぬ喧嘩もできるが、俺なぞは喧嘩をしようにも、我儘を云はうにも、兩親ともないのぢや。さう思ふと淋しいなあ。生きとるうちはなんぢや、かんぢやと云ふて喧嘩したり、なんかして親不孝をするが、死んでみると、ほんとに後悔されるな。あゝあゝいふ事もせにやよかつた。かういふ事も云はにやよかつたとな。いろ〱後悔されるぞ』

『はゝゝ。なんぢやアねえ、急に佛心でも出たのかしらんが、今朝に限つてあアいふことを云つとるよ』

臺所の方から女房のお作が、大きな聲でそんなことを云ふ。

『馬鹿！何が佛心か。默つてろ。お前に判るもんか』

と、山中は一も二もなく叱りとばした。

それまでムッツリと押默つて、夫婦の冗談を聞き流してゐた山田は、

『お察しの通り、婆さんと衝突したんぢや。あんまり判らんことを云ふからな』

さう云ふ山田の聲は寧ろ悲壯だつた。

『判らんさ。君の母親が判らんのは無理はないよ。俺んとこの婆にしても、まるで判らんのぢやからな。昨夜もみんなが歸つたあとで、あれから大喧嘩さ。今度の事件でな』

『婆さんがな、河越苦勞ばかりするもんぢやから、さういふことして萬一クビにでもなつたら、明日からこの老骨をかゝへて、どうするかと云ふのぢア。ほんとにもう寄といふものは困る』

『そりや云ふさ。うちの奴でも云ふのぢやからな。それで昨夜は俺や喧嘩したんぢやよ』

『俺は昨夜もみんなの前であゝいふ強いことを云つたし、今そゝでやめることにでもなると、ほんとに面目次第もない。と云つて、一人の年取つた親を……』

『うむ。困つたな。そりやな、今君がさういふことをすると、それこそ大事ぢやぞ。裏切者といはれるからな』

『うむ。……困つてしまう。山中君、どうしたらよからう？』

『そりや、困つたことぢやな。しかし、山田君、君は一體どう考へとる？』

『俺かい？』

『君はまさか、仲間から一人脱けるやうな考へはないぢやろな』

『………』

『あれほど……昨夜のことばかりぢやないよ。かね〲この問題については、君は外の人よりも熱心に一番力を入れてアヂつて居つた人間ぢやから、まさかみんなを裏切る様な、さういふあさましい考へはもつちやをらんぢやろ！』

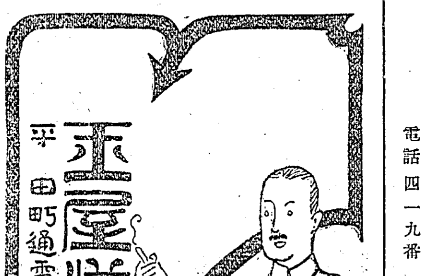
◎診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町（松月堂向ヒ）
中野齒科醫院
電話五〇九番
院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日大齒科醫學士 鹽谷伍郎
補綴部主任 佐藤重義

平市紺屋町一一
上原家政婦會
會主產婆 上原通子
電話二二一番
產婆看護婦有資格者ニシテ最モ熟練ナル者ヲ一般家政婦トシテ派出致シマス

耳鼻咽喉科專門
鈴木醫院
醫學士 鈴木正男
平市田町（藤田女學校前）
電話五八番

開業お知らせ
〃御料理〃
金みよし
平市仲田町
電話四一九番

夏物は
是非！
當店から
（在庫豊富）

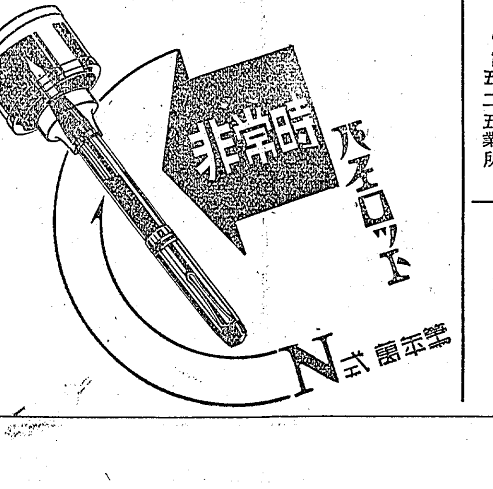

玉屋洋品店
平 田町通 電話六五六番

お醬油はヤマフル
醬油味噌
たひら正宗
鰹節食料品
福島縣平市
釀造元 鹽屋
電話一〇二七番
明治生命磐城代理店
山崎與三郎

（夜間診療）
胃腸性病
内科
胃腸病科
花柳病科
性病科
皮膚科
專門
松村胃腸性病醫院
平市南町（電話一〇七番）

御婚禮御着附
パーマネントウエーブ
和洋結髮
オゾン美顏術
御染髮洗毛
御爪美術
平市驛前
水野化粧院
電話 自宅六七八 營業所五二五

三井タクシー
平二 電話六八五番


非常時
パイロット
萬年筆N式

旋風的賣行き
非常時パイロツトの特長
一、インク瓶をサカサにすれば五秒で完全にインクが入り少しも手を汚さない
一、インクの出過が出濫り全くなく運筆極めて快調
一、ペン先はイリヂユウム付で耐久三十年（五ケ年間無料修理）
一本毎に倒れてもコボレヌ携帶用インキ一個贈呈
今スグ御一報下さい
即刻參上致します
¥2.50以上
平市特約店
佐々木商店
電話一三三番
公園前

外科內臟外科
X光線科
—新設—
產婦人科
▽入院隨意△
院長 安齋徹
醫學士 黑澤廣
平市田町
安齋醫院
電話四七五番

吉田眼科醫院
平市紺屋町電話六八番
醫學士 吉田久雄

メガネは！
平市二丁目
玉屋